

ソフトアブソーバの取付け 取扱い説明

(FMA型、FML型マグナムシリーズ・ソフトアブソーバ)

取付け取扱い説明要領に従い、充分注意して設置していただければ、安全かつ長期間に渡って最適な状態でご使用になれます。

取付け概要

設置場所に歪みのない、充分強度がある構造物上に、アブソーバを取付けて下さい。(FIG.1)

ロッド先端のロッドキャップと荷重物体が水平に当たる様に調整して下さい。
熱を最大限に発散させる為、本体への塗装は避けて下さい。必要に応じ保護板を使用し、酸、スチーム、溶接スパッタ、ヒューム、粉塵等から本体を保護する様に処置して下さい。又、2本以上で併用してご使用の場合は、同一機種を使用し、荷重が均等に分配される様、設置願います。

サイドマウントをご使用の場合は、ストッパで受けるようお願いいたします。(FIG.2)

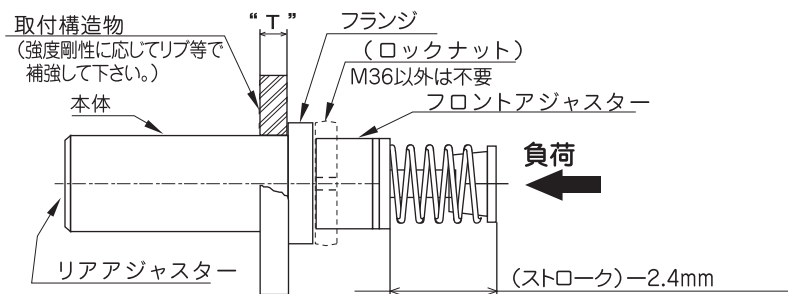


FIG. 1

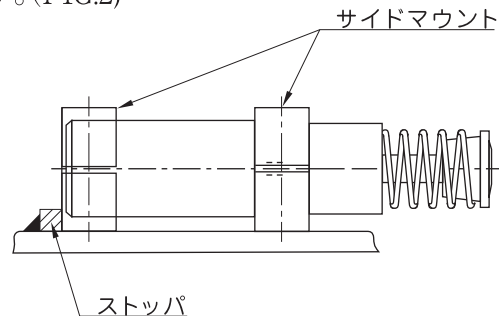


FIG. 2

◎取付け部板厚とフランジ取付けボルト

シリーズ	“T”最小寸法	取付ボルト
FMA, FML 3 3	1 0 mm	M6
FMA, FML 4 5	1 3 mm	M8
FMA, FML 6 4	1 6 mm	M10
FMA, FML 3 6	1 6 mm	M12

アキュムレータ内蔵式アブソーバの取付け

FMA型及びFML型アブソーバには、工場出荷時にATFオイルが充填してありますので、設置後すぐにご使用出来ます。

エアー・オイル・タンクの取付け

FMAA(S)型及びFMLA(S)型アブソーバには、工場出荷時にATFオイルが充填してありますが使用前に必ずエアーオイルタンクと配管にて連結して下さい。(FIG. 3) 入側ポートが上側になる様に設置して下さい。

エアーオイルタンクは、本体から可能な限り最短の位置に、しかも高い位置になる様に設置して下さい。又、タンクとアブソーバ本体間の配管は金属管を使用しなるべく長さが1.5m以内になる様に施工して下さい。

配管内径は本体ポートと同等か、それ以上の大きさになる様にして下さい。オイルの流動抵抗が増大する様な配管施工は避けて下さい。

遮断弁をタンクとアブソーバ本体間に取付けない様ご注意ください。エアー配管上にチェック弁を組み込み、タンクの予備ポートを塞いで、指定のオイルを適量レベルまで注入すれば、(過充填にならない様に注意して下さい。)完了となります。

尚、操作空気圧力は0.35~0.7MPaの範囲内でご使用願います。又、ご使用の前に裏面の調整要領に従って必ず調整作業を実施してからご使用下さい。

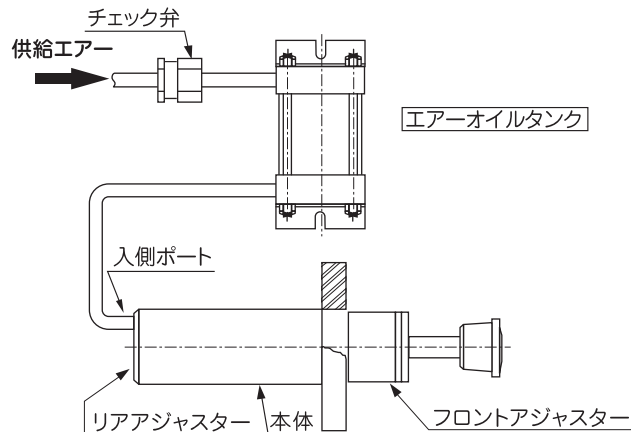


FIG. 3

◎適合エアーオイルタンク

シリーズ型式	エアーオイルタンク
FMA, FML 3 3	OP-110-01
FMA, FML 3 6	OP-110-01
FMA, FML 4 5	OP-110-02
FMA, FML 6 4	OP-110-02

ソフトアブソーバの調整要領

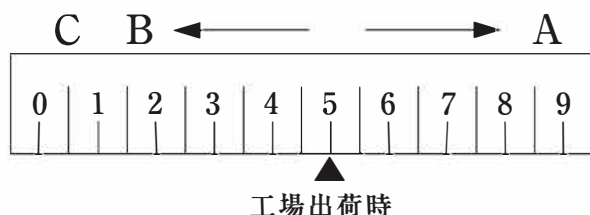
(FMA、FML型マグナムシリーズ・ソフトアブソーバ)

この度は、弊社産業用ソフトアブソーバをご使用いただき、誠に有り難うございます。

ソフトアブソーバの調整とは、理想的な衝撃吸収になるように、アプリケーション各種に応じて(使用状況によって)等価質量が適合するようにオリフィスを開けたり閉じたりさせて、最適な目盛位置を決定する作業です。

ソフトアブソーバは、0～9の目盛がついており、この範囲内でアジャスターにて調整いたします。(オリフィスは、0で全閉、9で全開状態になります。)

ソフトアブソーバは、工場出荷時にアジャスター目盛が、5にセットされておりますので、ご使用に当たりましては各アプリケーションごとに調整が必要になります。



マグナムシリーズアブソーバの調整型は、目盛が前部及び後部の2ヶ所に表示されており、アジャスターも2ヶ所の設定です。フロントまたはリアのアジャスターのどちらか都合の良いほうを選択して戴き、調整作業を実施して下さい。

まず、装置に取付けが終わりましたら、目盛5のままで物体を衝突させます。

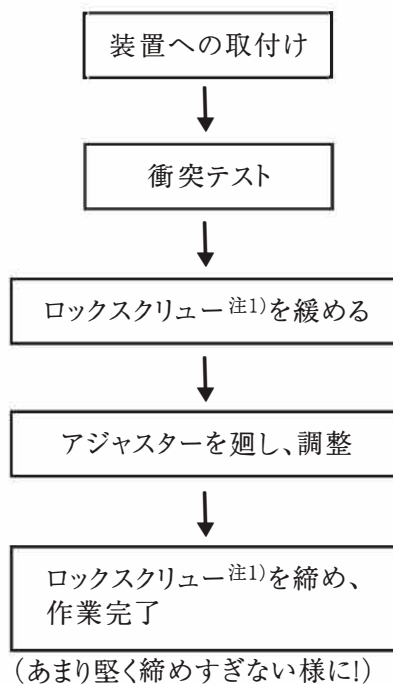
この時、ショック吸収が充分であれば、そのままご使用できますが、ショック吸収が不十分な場合は、ロックスクリュー^{注1)}を緩めて(工具:六角レンチ2mm)アジャスターが廻るようにいたします。(ロックスクリュー^{注1)}は、一回転で緩むようになっています。廻し過ぎてロックスクリュー^{注1)}を紛失しないようにして下さい。アジャスターの作動は、本体構造上少し硬めになっております。フロントアジャスターはピンレンチ、リアは六角レンチで廻します。)

衝突時、次のような現象が現れた場合、必ず調整作業を実施していただきます。これを怠るとソフトアブソーバの役目を果たさぬばかりか、取付け機器本体へも悪影響が発生いたしかねませんので、必ず調整は実施して下さい。

符号	現 象	処 置
A	◎衝突の初期に強いショックが発生する。	◎目盛5から9の方向にアジャスターを廻し、適切な位置に設定して下さい。
B	◎衝突の後半に強いショックが発生する。	◎目盛5から0の方向にアジャスターを廻し、適切な位置に設定して下さい。
C	◎目盛1以下でもショックを吸収しない。	◎1段階上のアブソーバを検討して下さい。

調整が終わりましたら、ロックスクリュー^{注1)}を締め、アジャスターが振動等で廻ることのないようにして、作業完了となります。

(作業手順)



注1) FMA/FML-64シリーズのみで、他のシリーズはロックスクリューはありません。

ソフトアブソーバーによる二次災害の起らぬ様対策を行って下さい。



不二ラテックス株式会社
精密機器本部

URL <http://www.fujilatex.co.jp>

営業部 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1
TEL 03(3259)2524 FAX 03(5282)7520
TEL 03(3259)2545